

漢文句法④ 否定・禁止（不可能） 【問題】

漢字	読み	訳
不能	―能 あた はず	―できない
不得	―ヲ得 え ず	
不可	―ベカラず	
不忍	―ニ忍 しの びず	
不勝	―ニ勝 た へず	・―に耐えられない ・―できない
不足	―ニ足 た らず	
不可勝	・―ニ勝 あ （た）フベカラず ・勝 あ ゲテ―ベカラず	―しきれないほど多い

【練習】□に送り仮名を入れ、傍線部を書き下し、口語訳せよ。 (は置き字)

1 医リテ至い日ハク、「疾やまひ不□可□為をさむ也なり。」 為レ治なりす

書き下し文

口語訳

2 候吏還こうり かへリテ 白まをス、「河水流漸りうしス。無クンバ船不ト □ □可わタル濟レ。」 濟（河を）渡る

(訳)

3 且かつ欲スルモ下と与ニ常馬シカラント等上、不□ □可う得得。 得 実現する

(書)

(訳)

1 医者が到着して言うには、「――」。
〈病入膏肓〉
2 斥候が戻ってきて報告するには、「河は氷が解けて水が流れています。船が無ければ――」と。〈十
八史略〉
3 せめて普通の馬と同じ位の力を
出そうとしても、――」。〈雑説〉

4 卷土重来**未**可^レ知^ル

(書)

(訳)

5 項伯曰、「天下事**未**可^レ知^ル。
：

(書)

(訳)

6 「子与^レ文遊^ブ久^シ矣[。]
大官**未**可^レ得^ル、小官公又弗^レ欲^セ。

大官 高官の職

(書)

(訳)

7 躊躇**不**能^ル去^ル

(書)

(訳)

8 懿笑曰、「吾能料^ハ生^ヲ、**不**能^ル料^ル死^ヲ。」

(書)

(訳)

9 其人**弗**能^ル応^ル也[。] 応答える

(書)

(訳)

10 轍年少、**未**能^ル通^ス習^リ吏事^ニ。

通習 習熟する 吏事 役人の仕事

(書)

(訳)

4 敗れた項羽が再び盛り返すかどうか、――。〈杜牧・題烏江亭〉

5 項伯が言うには、「天下争いがどうなるかは、――。〈史記〉

6 〈孟嘗君がある食客に言うには〉
「あなたは私（文）と交遊するようになって長い。あなたは高官の職は――、一方で下級役人にはあなたはなりたくないだろう。〈戦国策〉

7 ためらい足が止まって、――。
〈白居易・長恨歌〉

8 司馬懿が笑って言うには、「私は生きている人間のすることは推測できるが、死んだ人間のすることは――。」と。〈十八史略・死諸葛走生仲達〉

9 その人は――。〈韓非子・矛盾〉

10 わたくし蘇轍は年が若く、――。
〈蘇轍・上枢密韓太尉書〉

11 莊^{さう}不^レ得^レ擊^{うツ}。[□] 擊^{ウツ}襲^ウ

(訳)

12 軍不^レ得^二休息^{スル}。[□]

(書)

(訳)

13 項王自^{みづから} 度^{はかり}不^レ得^ル脱^{スル}、[□] 謂^{いヒテ}其^{そノ}騎^ニ曰^{いハク}、

(書)

脱^{ハク}脱^{ハク}出^デする

(訳)

14 信使^{しム}決^セ水^ヲ。 且^{そノ}軍大半不^レ得^ル渡^ル。[□]

(書)

(訳)

15 斑^{はん}未[□]得^ス殺[□]。

(書)

(訳)

16 君^{きみハ}長^{ナリ}者[□]、不^レ忍^ス刺^ス君^ヲ。

(書)

(訳)

17 不^レ忍[□]殺^ス之[□]、以^{もつテ}賜^{たまハント}公^ニ。[□] 之^{この}馬

(書)

(訳)

11 項^{こう}莊^{そう}は沛^{はい}公^{こう}を――。〈史記・鴻門之会〉

12 兵士たちは――。〈史記〉

13 項王は、もはや――と自らさと
とり、配下の騎兵に話しかけて
言うには、〈史記・項王自刎〉

14 韓信はせき止めていた川の水
を決壊させた。(敵の)龍且の
軍は大半が――。〈十八史略〉

15 斑は犖^{らく}を――。〈史記〉

16 あなたは有徳の人だ、だから
――。〈史記〉

17 ――、よってこいつをあなたに
やろう。」と。〈史記・項王自刎〉

18 曾^{そう}皙^{せき} 嗜^た 羊^{やう}棗^{さう}。 而^{しかう} 曾^{さう}子^し 不^レ忍^レ 食^{くら} 羊^{やう}棗^{さう}。
羊^{やう}棗^{さう} なつめの実

(書)

19 叡^{えい}泣^{キテ} 曰^いハク、「陛下^{すで}已^ス 殺^そ其^ノ母^ヲ。 臣^ト 不^レ忍^レ 殺^ス其^ノ子^ヲ。」

(書)

(訳)

20 張^{しや}良^{シテ}謝^い 曰^{ハク}、「沛^{はい}公^は 不^レ勝^ハ 梧^{はい}杓^{しやく}、 不^レ能^ハ 辞^{ジスル}。」

杓^{しやく} 酒^{しゆ}を飲^のむこと 辞^ジ お別^{わか}れの挨拶^{あいさつ}をする

(書)

(訳)

21 罷^ひ軟^{なんニシテ} 不^レ勝^ハ 任^{にんニシテ} 惰^だ慢^{まんニシテ} 不^レ親^ハ 親^ハ 事^ジ、 免^ミ官^ヲ

(書)

(訳)

22 白^か頭^{ケバ}搔^{ニク} 更^{ニク}短^ク 渾^{すべ} 欲^ほ 不^レ勝^ハ 簪^{ラン} 簪^ツ

欲^ホ (今^{いま}にも) …しそ^しうだ・しか^{しか}か^かつて^ついる 辞^ジ お別^{わか}
れ^れの挨拶^{あいさつ}を^をする 簪^{かんざし} ^{かんざし}

(書)

(訳)

罷^ひ軟^{なん} 体^{てい}が弱^{じやく}い

18 曾^{そう}皙^{せき}はなつめの実^みが好物^{こうぶつ}だつた。そう^{そう}いうわけ^{わけ}で(曾^{そう}皙^{せき}の死^し後^ご) 子^この曾^{そう}子^しは――。〈孟^{もう}子^し〉

19 叡^{えい}が泣^ないて言^いうには、「陛^{へい}下^かは既^{すで}に母^ぼ鹿^{ろく}を殺^{ころ}された。私^{わたし}は――」。と。〈十八^{じゅうはち}史^し略^{りやく}〉

20 張^{ちやう}良^{りやう}がおわびして言^いうには、「主^{しゅ}の沛^{はい}公^{こう}はこれ以上^{いじやう}――」。〈史^し記^き・鴻^{わう}門^{もん}之^し会^{かい}〉

21 ―、怠^{たい}けて自^じ分^{ぶん}で執^{しつ}務^むしな^ない者^{もの}につ^ついては、免^{めん}職^{しやく}とし^{した}た。〈十八^{じゅうはち}史^し略^{りやく}〉

22 白^{はく}髪^{はつ}頭^{とう}を搔^かくと髪^{かみ}がさら^{さら}に薄^{はく}くなり、全^{ぜん}く――。〈杜^と甫^ふ・春^{しゅん}望^{ぼう}〉

■「不可勝」は二通りの読みがあるので、二通りの書き下し文にする。

23 如_二臣之比_一車載斗量 不可_二勝_一数。

(書)

(訳)

・不可_レ勝_レ数。

(書)

24 遇_二禍災_一者、不可_二勝_一数。

(書)

(訳)

・不可_レ勝_レ数。

(書)

25 財不可_二勝_一用。

(書)

(訳)

・不可_レ勝_レ用。

(書)

23 (呉国には)私程度の人間なら、車に載せ、マスに入れて計っても、――。と。〈十八史略〉

24 思いがけぬ災難に遭った者は、――。〈史記〉

不^{ザンバ}違^{たがへ}農^ニ時^一、穀^{こく}不^レ可^{□□□□}勝^{くら}食^一也^{なり}。

数^{さく}罟^こ不^レ入^ニ洿^い池^ち、魚^ぎ鼈^よ不^レ可^ニ勝^{べつ}食^一也。

斧^ふ斤^{きん}以^{もつ}時^テ入^ヲ山^い林^ら、材^ニ木^ニ不^レ可^ニ勝^{もち}用^フ也^{なり}。

穀^穀（収獲する）穀物 魚^魚鼈^鼈 魚類 用^用 使^使う

（書）

（訳）

・不^ル可^{□□□□}勝^{フル}食^{なり}也。

（書）

・不^ル可^{□□□□}勝^{フル}用^{なり}也。

（書）

26 民衆を賦役に重用するに当たり農作業の時期を適切に考慮するならば、――。目の細かい網を池に入れて全て取り尽くそうとしないならば、――。斧を持つて、適切な時期だけ山に入るならば、――。〈孟子〉